個人7

受付	令和 8 年 6 月 2 日 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問（代表・(個人)）通告書

令和　8年6月2日

尾張旭市議会議長　殿

氏　名　いとう　伸一

尾張旭市議会会議規則第５０条第１項の規定により６月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1　質問事項　　3　件

2　質問方法

	１回目　一括質問、一括答弁 再質問以降　質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	１回目から　質問事項（大項目）ごとに一問一答

選択する方法に○を付す。

尾張旭市議会 受付 -8.6.-2 第一号

別紙　　氏　名　いとう　伸一

質　問　事　項 No.　1	子どもの弱視について
要旨	近視は「近くのものはよく見えるのに遠くのものはぼやけて見えない目の状態」で、遠視は「どこを見るにもピント合わせが必要で、特に近くがぼやけて見えない目の状態」である。 ここでは子どもの成長期に起こる弱視について取り上げ、本市の状況と対策について伺う。 （1）　弱視とは （2）　本市の弱視の子どもの把握状況について ア　小学校就学前 イ　小学校就学後 （3）　教育現場での配慮（座席配置、拡大教材、ＩＣＴなど）について ア　小学校就学前 イ　小学校就学後 （4）　早期発見のための取組（健康診断の時期など）について

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　いとう　伸一

質　問　事　項 No.　2	視覚障がいとスポーツ振興について
要旨	視覚障がい者の数は厚生労働省〈2022 年度：令和４年生活のしづらさなどに関する調査〉の統計によると、視覚障害者手帳を所持している在宅の方は全国で約 27 万人、実際に生活に不自由を感じているレベルの人を含めると 2007 年の公益社団法人日本眼科医会の推計では約 160 万人、2030 年には高齢化の影響で約 200 万人（約 60 人に１人）にまで増加すると予想される。 視覚障がいにより一定の制約があることを念頭に、健康都市としてのスポーツ振興について伺う。 （１）　障がい者の運動への参加について ア　障がい者の運動教室参加 イ　「ごちゃまぜ運動会」の内容 （２）　視覚障がい者が住みやすいまちについて ア　安全な移動に対する配慮 視覚障がい者誘導用ブロック、音響式信号機、歩道の整備状況などについて伺う。 イ　視覚障がい者が運動（ランニング、ジョギング）できる環境について

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　いとう　伸一

質　問　事　項 No.　3	麻しん（はしか）と風しんの予防接種を１回のみ受けた方への対応について
要旨	麻しんと風しんは１回のみの予防接種では免疫が十分に定着しない、時間の経過とともに免疫が弱まる。 成人後に感染し重症化するなどのケースを防ぐために、現在は２回の予防接種になっているが、１回のみの予防接種が標準の時期があった。 そのため、予防接種を１回のみ受けた方に対する本市の見解を伺う。 （１）　麻しん（はしか）について ア　感染リスクについて イ　予防接種の年齢について （２）　風しんについて ア　感染リスクについて イ　予防接種の年齢について （３）　市民の認知度について （４）　市民が認知する方法について （５）　市民の認知度を増やす施策について

※　申し合わせ事項に留意する。